

## 連続小説

研究室の学生さんが持ち込んでいた  
文庫本化されている連続小説を読んでいたら、  
とある巻から、その次の巻まで一週間あけて読めとのこと。  
どうやら、発刊時にタイムリーに読んでいた人達は、  
発刊期間の3ヶ月のあいだ、とてもやきもきしたという。  
ふーん、と相槌をうちつつ件の巻を読むと、  
確かに非常にいや～な展開での持ち越し。  
がまんでせずに、いろいろとお願いして次の巻を出してもらいました。  
そんな平和な一日。